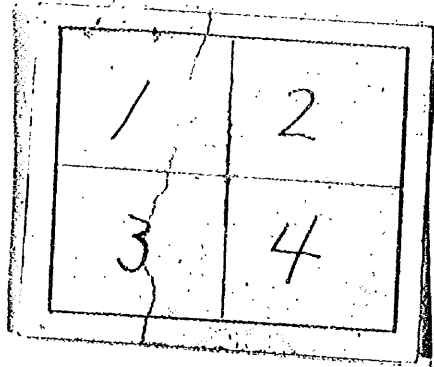


# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0271  
0273  
0274

所

第四四軍第六三師團

部隊名

獨立歩兵第八〇大隊 (二)

通稱號

陣二九九五

郵便所名

全般概要  
二〇、九、三〇、奉天発  
河入「ソ」

轉入  
十九年以降

轉出  
十九年以降

員人別編

隊長名  
(内は先代を示す)

開入  
戦時

駐屯地  
平時

戦時  
戦後

戰鬥間の状況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より  
入「ソ」迄の變動

入「ソ」人員  
隊別計

滿洲残留

隊中砲兵歩	隊中銃關機	隊中五第	別隊
<p>中尉 武井 八夫 少尉 横山 孝郎</p>	<p>望月 中尉 倉田 陽夫 少尉 廣野 昌之 中尉 笠原 昌之 少尉 吉田 善彦</p>	<p>少尉 金子 文夫 少尉 山口 勝三</p>	<p>隊長名 (内は先代を示す)</p>
右同	右同	遼通 (國星木)	開入 戦時
右同	右同	屯官文	駐屯地 平時
			戦時 戦後
			戰鬥間の状況及損耗
			終戦後の人員變動
			作業大隊より 入「ソ」迄の變動
			入「ソ」人員 隊別計
			滿洲残留

部隊名 獨立歩兵第八〇大隊 (二)

通稱號 陣二九九五

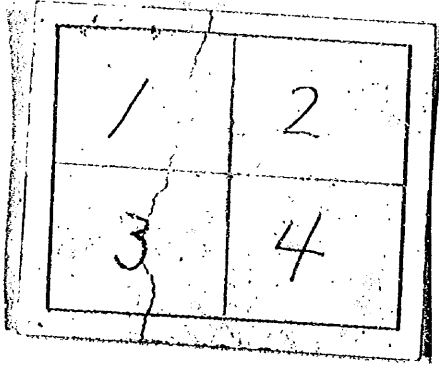
郵便所名

隊中砲兵歩		隊中銃關機		隊中五第		別除	
中尉武井八夫 少尉横山壽郎		望月 中尉倉田陽夫 少尉齋藤高直 中尉堂目五郎 少尉吉田孝雄		少尉金子文夫 見山山口勝三		隊長名 (内は先代を示す)	
右同		右同		遠通 (國星木)		駐屯地 平時 戦時	
右同		右同		屯官文		戦時	
戦闘間の状況及損耗							
終戦後の人員變動							
作業大隊より 入ソノ迄の變動							
入ソノ人員 除別計							
滿洲残留							
收容所名							
所人 死亡							
滿洲ソノ領 より計							
者 数							
狀況不明							

	隊 中 砲 兵 歩	隊 中 銃 關 機	隊 中 三 第
	中尉 武井 六次 少尉 横山 善郎	望月 中尉 倉田 陽夫 少尉 藤原 高樹 中尉 笠原 五郎 少尉 吉田 善義	中尉 倉田 陽夫 少尉 藤原 高樹
	右 同	右 同	右 同
	右 同	右 同	右 同

	隊中砲兵歩	隊中銃關機	隊中三
	<p>中尉武井八夫 少尉横山壽邦</p>	<p>望月 中尉倉田陽夫 少尉高橋嘉三 中尉室月三郎 少尉吉田孝藏</p>	<p>中尉金三久夫 少尉三浦三</p>
	右同	右同	<p>中尉 (國屋六)</p>
	右同	右同	中尉文

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0275  
0276

第四四軍第六三師團 部隊名 獨立歩兵第八一大隊(一)

通稱號 陣二九九六

郵便所名

全般概要		轉入	轉出	員入調編	隊別	隊長名	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソノ迄の變動	隊別計	滿洲残留	
<p>一四、七、二四、編成下令 二〇、六、二〇、編成下令 下となり北支隊區より編成 調出の部隊</p> <p>二〇、八、一、一、編成下令 奉天地區防衛の爲編成 奉天に向ふ、行軍 兵隊三三 行方不明</p> <p>二〇、八、一、三、夕刻進軍 着</p> <p>二〇、八、一、四、終戦を知 り奉天車站の爲進軍</p> <p>二〇、八、一、八、奉天着</p> <p>二〇、八、二〇、奉天にて 実装解除</p> <p>作第二大隊 長河野軍</p>		<p>十九年以降 自一七、七、一 至一九、二、二 歩一〇二聯隊 編成 三五二名</p> <p>自一九、一、一 至一九、一、三 歩兵第一一五 聯隊補充隊 八〇名</p> <p>自一九、五、一 至一九、五、二 六 歩一七二聯隊 補充隊 一六五名</p> <p>二〇、六、九 編成七七六 五一名</p>	<p>二〇、六、三〇 一四、七、四〇</p>	1283名	<p>大 隊 本 部</p> <p>少尉 谷 英夫 中尉 水野 利男 少尉 若合 彦</p>	<p>大尉 河野 亨 中尉 神 靖久 中尉 若合 彦三 中尉 若合 彦三</p>	<p>(内は先代を示す)</p>	<p>開入 戦時 平時</p> <p>開 奉天</p>	<p>戰鬥間の状況及損耗</p>	<p>終戦後の人員變動</p>	<p>作業大隊より 入ソノ迄の變動</p>	<p>隊別計</p>	<p>滿洲残留</p>
第三隊	第二隊	第一隊			中	少尉 松田 中尉 蓮田 誠 中尉 若澤 英房	右同	右同					
					中	少尉 小川 順一郎 中尉 若合 彦 中尉 若合 彦	右同	右同					
					中	少尉 谷 英夫 中尉 水野 利男 少尉 若合 彦	右同	右同					

隊別		大 隊 本 部	第 一 中 隊	第 二 中 隊	第 三 中 隊
隊長名 (内は先代を不示)	副隊長名	少尉 谷 英夫 少尉 水島 利男 少尉 若合 慶一	少尉 小川 順一郎 少尉 山本 孝夫 少尉 長尾 健次	少尉 松田 誠 少尉 蓮田 誠 少尉 石澤 孝房	大尉 河野 亨 大尉 藤 清助 中尉 斎藤 武三 中尉 若原 隆文
開人 戦時 隊員	駐屯地	魯 開	右 同	右 同	右 同
平時	戦時	天 幸	右 同	右 同	右 同
戰鬥間の狀況及損耗					
終戦後の人員變動					
作業大隊より入ソ」迄の變動					
入ソ」人員					
隊別計					
滿洲残留					
收容所名					
チレンホーホ					
所人					
死亡					
滿洲より					
アソ領より					
計					
歸還人員					
者数					
狀況不明					

部隊名 獨立歩兵第八一大隊(二)

通稱號 陣一九九六

郵便所名



佐々木八郎  
長瀬野事

二〇、八、一四、落敷を以て奉天奉給の公進遊覧  
二〇、八、一八、奉天港  
二〇、八、二〇、奉天港  
二〇、八、二一、奉天港  
二〇、八、二二、奉天港  
二〇、八、二三、奉天港  
二〇、八、二四、奉天港  
二〇、八、二五、奉天港  
二〇、八、二六、奉天港  
二〇、八、二七、奉天港  
二〇、八、二八、奉天港  
二〇、八、二九、奉天港  
二〇、八、三〇、奉天港  
二〇、八、三一、奉天港  
二〇、八、三二、奉天港  
二〇、八、三三、奉天港  
二〇、八、三四、奉天港  
二〇、八、三五、奉天港  
二〇、八、三六、奉天港  
二〇、八、三七、奉天港  
二〇、八、三八、奉天港  
二〇、八、三九、奉天港  
二〇、八、四〇、奉天港  
二〇、八、四一、奉天港  
二〇、八、四二、奉天港  
二〇、八、四三、奉天港  
二〇、八、四四、奉天港  
二〇、八、四五、奉天港  
二〇、八、四六、奉天港  
二〇、八、四七、奉天港  
二〇、八、四八、奉天港  
二〇、八、四九、奉天港  
二〇、八、五〇、奉天港  
二〇、八、五一、奉天港  
二〇、八、五二、奉天港  
二〇、八、五三、奉天港  
二〇、八、五四、奉天港  
二〇、八、五五、奉天港  
二〇、八、五六、奉天港  
二〇、八、五七、奉天港  
二〇、八、五八、奉天港  
二〇、八、五九、奉天港  
二〇、八、六〇、奉天港  
二〇、八、六一、奉天港  
二〇、八、六二、奉天港  
二〇、八、六三、奉天港  
二〇、八、六四、奉天港  
二〇、八、六五、奉天港  
二〇、八、六六、奉天港  
二〇、八、六七、奉天港  
二〇、八、六八、奉天港  
二〇、八、六九、奉天港  
二〇、八、七〇、奉天港  
二〇、八、七一、奉天港  
二〇、八、七二、奉天港  
二〇、八、七三、奉天港  
二〇、八、七四、奉天港  
二〇、八、七五、奉天港  
二〇、八、七六、奉天港  
二〇、八、七七、奉天港  
二〇、八、七八、奉天港  
二〇、八、七九、奉天港  
二〇、八、八〇、奉天港  
二〇、八、八一、奉天港  
二〇、八、八二、奉天港  
二〇、八、八三、奉天港  
二〇、八、八四、奉天港  
二〇、八、八五、奉天港  
二〇、八、八六、奉天港  
二〇、八、八七、奉天港  
二〇、八、八八、奉天港  
二〇、八、八九、奉天港  
二〇、八、九〇、奉天港  
二〇、八、九一、奉天港  
二〇、八、九二、奉天港  
二〇、八、九三、奉天港  
二〇、八、九四、奉天港  
二〇、八、九五、奉天港  
二〇、八、九六、奉天港  
二〇、八、九七、奉天港  
二〇、八、九八、奉天港  
二〇、八、九九、奉天港  
二〇、八、一〇〇、奉天港

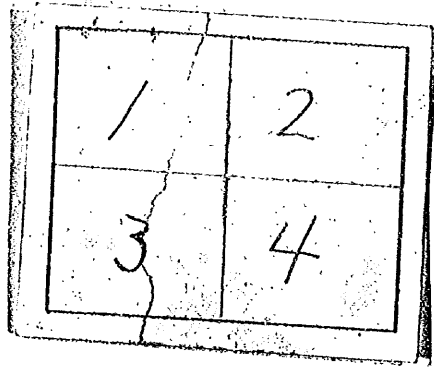
1283名

隊中四第	隊中三第	隊中二第	隊中一第	部本隊六
少尉 水泉 禮記 中尉 名和 長井 少尉 菅沼 文雄 少尉 津野 一司	少尉 松田 中尉 蓮田 鉄 少尉 石塚 長彦	少尉 小川 順一郎 中尉 菅沼 文雄 少尉 津野 一司	少尉 谷 英夫 中尉 水島 利男 少尉 菅沼 文雄	大尉 三浦 幸 中尉 菅沼 文雄 少尉 津野 一司
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同

隊中四第	隊中三第	隊中二第	隊中一第	部本隊六
少尉 水泉 禮記 中尉 名和 長洋 少尉 菅沼 文雄 少尉 津野 一男	少尉 松田 中尉 蓮田 敏 少尉 石塚 孝房	少尉 小川 順一郎 中尉 竹中 孝美 少尉 長尾 健夫	少尉 谷 英夫 中尉 永野 利男 少尉 若合 慶三	大尉 河野 三 中尉 藤井 孝 中尉 藤井 文三 少尉 藤田 文
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同

# 分割撮影ターゲット

分割した  
部分の  
撮影順序



分割撮影  
した理由

A 3 判 以 上 の た め

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

0279  
0280  
0281  
0282

所 屬

第四四軍第六三師團

部隊名

獨立歩兵第八一大隊(二)

通稱號

陣二九九八

郵便所名

全般概要

二〇、九、一〇、奉天製菓  
河野入「ソ」  
二〇、一〇、七、チレンキ  
「ソ」

轉入

轉出

編制人員

隊別

隊長名  
(内は先代を示す)

關人  
戰時

駐屯地

戰時

戰時

戰鬥間の狀況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より  
入「ソ」迄の變動

入「ソ」人員  
隊別計

滿洲殘留

收

隊中砲兵

隊中銃關機

隊中五第

中尉 田谷 憲重  
中尉 米山 俊雄

中尉 加藤 幸作

中尉 寺澤 宗  
中尉 澤田 隆夫

右 同

右 同

魯 開

右 同

右 同

天 奉

なし

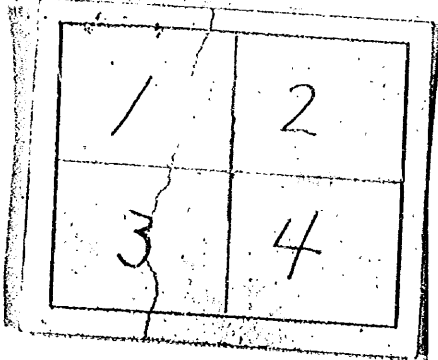
部隊名 獨立歩兵第八一大隊 (二) 通稱號 陣二九九八 郵便所名

隊中砲兵	隊中銃關機	隊中五第	別隊	隊長名	職	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソの變動	隊別計	滿洲殘留	收容所名	所人	死亡	滿洲ソ領より	計	者數	狀況不明	
中尉 田谷 憲重 中尉 大野 隆雄	中尉 加藤 幸作	中尉 寺澤 宗	( )内は先代を示す	中尉 寺澤 宗	職	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソの變動	隊別計	滿洲殘留	收容所名	所人	死亡	滿洲ソ領より	計	者數	狀況不明	
右同	右同	右同																	
右同	右同	右同																	

隊中砲兵	隊中銃關機	隊中主簿
中尉 田谷 憲重 <small>田谷 憲重</small>	中尉 加藤 幸作	<small>田谷 憲重</small>
右 同	右 同	谷 田
右 同	右 同	天 壽

	隊中砲兵	隊中銃關機	隊中五第
	中尉 田谷 憲重 少尉 河野 隆雄	中尉 加藤 幸作	少尉 山本 隆雄
	右 同	右 同	少尉
	右 同	右 同	天 彦

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	



0283  
0284  
0285

第四軍第六三師團 部隊名 第六三師團追撃砲隊 通稱號 陣一四九七 郵便所名

全般概要		轉入	轉出	人員制編	別隊	隊長名	戰時人員	駐屯地	戰鬥間の狀況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ連の變動	入ソ連人員	滿洲残留
一九二二、一、編成下令 二〇、二、一、編成完了 (於北京) 二〇、六、一、北京發進 遼寧省に駐屯 二〇、八、九、奉天地區防衛の爲奉天支隊に轉動、同地に駐屯したる 二〇、八、二〇、奉天支隊に編入、平壤駐屯 二〇、八、二九、北陸に轉動 入隊 六名 死亡 二名 二〇、九、一、北陸大學にて作業第九大隊編成 二〇、九、一、奉天支隊河入ソ連 出發時編成卷となり一三作大に入る		一九二二、一、五 二〇、二、二 六、二、七六隊 四四名 二〇、三、一五 六、二、七六隊 六七名	一九二二、一、五 二〇、二、二 六、二、七六隊 四四名 二〇、三、一五 六、二、七六隊 六七名	577名	本隊 第一中隊 第二中隊 第三隊	大尉 岡中 利夫 副 服部 正次 少尉 青山 勢次 中尉 奥貫 卓司 主中 齋藤 一純	80名	遼寧 (遼東) 天奉			作業大隊より入ソ連の變動 奉天支隊に編入、平壤駐屯 二〇、八、二〇、奉天支隊に編入、平壤駐屯 二〇、八、二九、北陸に轉動 入隊 六名 死亡 二名 二〇、九、一、北陸大學にて作業第九大隊編成 二〇、九、一、奉天支隊河入ソ連 出發時編成卷となり一三作大に入る	除別計	滿洲残留

第六三師團迫撃砲隊

通稱號

陣一四九七

郵便所名

隊長名 (内は先代を示す)	職人 時員	駐屯地		戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソレ迄の變動	入ソレ人員 除別計	満洲残留	收容所		死亡 より満洲ソ領計	帰還人員 計	状況不明 者数
		通	遼						收容所名	所人			
大尉 國中 利夫 副 少尉 服部 正次 中尉 青山 秀次 中尉 奥貫 卓司 主中 齋藤 一純	80名	遼	天 (遼東)						アチナイ第一分隊 一九四一年九月 一校收容所 三二四八の四 に移送された	三二四八の四			
中尉 山西 邦博 中尉 中塚 隆雄 中尉 藤原 文彦	124名	右	同										
中尉 山口 健一 中尉 渡辺 孝夫	453名	右	同										
少尉 三輪 正八 見士 服部 重雄 准尉 女之野 茂 准尉 山本 高次 曹 中山 義一	124名	右	同										
	124名	右	同										

二〇、八、二九、北陸に敗  
 入院 六名  
 死亡 二名  
 二〇、九、一、北陸大學に  
 て作業第九大隊編成  
 二〇、九、一、奉天發熱河  
 入一ツ  
 出張時編成となり三作  
 大に入る

二〇、八、二九、奉天發熱河  
 入一ツ  
 出張時編成となり三作  
 大に入る

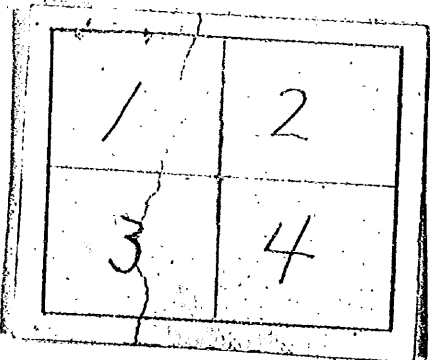
577名

本部	第一中隊	第一中隊	第三中隊	少尉 高間
大尉 三友 中尉 藤田 少尉 高間 曹長 藤田	中尉 山口 曹長 山口	中尉 山口 曹長 山口	少尉 三輪 正八 見士 服部 重雄 准尉 女之野 茂 准尉 山本 高次 曹長 中山 義一	少尉 高間
80名	124名	453名	124名	
送 送	右 同	右 同	右 同	
(送 送)	右 同	右 同	右 同	

二〇、八、二九、奉天發熱河  
 入一ツ  
 出張時編成となり三作  
 大に入る



# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0287  
0288  
0289  
0290

所屬 第四師團第六三師團 部隊名 第六三師團輜重隊 通稱號 陣二一九九七 郵便所名

全般概要		轉入	轉出	員人編	隊別	隊長名	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ迄の變動	入ソ人員	滿洲残留								
<p>一八、五、一、編成下令 一八、六、三〇、編成発令 (於地志)</p> <p>二〇、六、一四、編成発令 下となり北支より滿洲部隊 に移駐</p> <p>二〇、八、一、一、編成下令 本天地区防衛の公通運送 奉天に向</p> <p>二〇、八、一、一八、奉天にて 式被解散、爾後主力は平 堡を據り奉天北郊に收容さ る(二〇、九、九)此時自 動列車、青木重三以下七〇 名が及操縱手に貨物車にて 使役二〇、九、二五、入ソ</p> <p>第二中隊主力及修理班は三 方面軍直轄となり入ソ</p> <p>二〇、九、九、中旬、作業第 十、大隊編入(主力三三五名) 奉天發車(編入ソ)</p> <p>出發時一三作大入ソ</p> <p>...</p>		<p>三〇、二、八、六、</p> <p>三〇、二、九、一、二、</p> <p>編成五十一號隊</p> <p>補充隊より</p> <p>一四三名</p> <p>一八、六、三三</p> <p>〇、一、九、一、一、</p> <p>編成五十五號隊</p> <p>補充隊より</p> <p>六四名</p> <p>二〇、三、一、一、四、</p> <p>第百一八號隊</p> <p>補充隊より</p> <p>四九名</p> <p>自一九二二</p> <p>至一九二五</p> <p>五〇、八、五</p> <p>百九二名</p>	<p>二〇、七、中旬</p> <p>編成五十一號隊</p> <p>各中隊より八</p> <p>員不明</p>	502名	<table border="1"> <tr> <td>本隊</td> <td>中尉 鈴木</td> </tr> <tr> <td>第一中隊(馬)</td> <td>中尉 鈴木</td> </tr> <tr> <td>第二中隊(貨自)</td> <td>中尉 鈴木 少尉 三浦 少尉 仁科 見士 和田 同 平田</td> </tr> <tr> <td>第三中隊</td> <td>中尉 今野</td> </tr> </table>	本隊	中尉 鈴木	第一中隊(馬)	中尉 鈴木	第二中隊(貨自)	中尉 鈴木 少尉 三浦 少尉 仁科 見士 和田 同 平田	第三中隊	中尉 今野	<p>(内は先代を不示)</p> <p>大尉 岩屋 澄輝</p> <p>少尉 益原 勉</p> <p>功績 岡崎 昭記</p> <p>大尉 宮田 誠</p>	<p>通 遠</p> <p>奉 天</p>	<p>戰鬥間の状況及損耗</p>	<p>終戦後の人員變動</p> <p>...</p>	<p>作業大隊より入ソ迄の變動</p>	<p>入ソ人員</p>	<p>滿洲残留</p>
本隊	中尉 鈴木																			
第一中隊(馬)	中尉 鈴木																			
第二中隊(貨自)	中尉 鈴木 少尉 三浦 少尉 仁科 見士 和田 同 平田																			
第三中隊	中尉 今野																			

...

...

隊名 第六三師團輜重隊 通稱號 陣二九九七 郵便所名

隊別	本	部	第一隊(馬)	第二隊(貨自)	第三隊
隊長名 (内は先代を示す)	大尉 岩屋 澄雄 少尉 益原 勉 功績 岡崎 南記 准尉 宮田 誠 中尉 鈴木 清		中尉 鈴木 清	中尉 松野 正徳 少尉 三浦 明 少尉 仁科 明 見士 和田 明 同 平田 明	中尉 今野 定夫
戦時人員				約485名	
駐屯地	送通		右同	右同	右同
戦時	天奉		右同	右同	右同
戦闘間の状況及損耗					
終戦後の人員變動				終戦後第三方面軍は無となり、爾來三方軍部 隊と共に入ソ	第三隊の在りて奉天に 置した
作業大隊より入ソ返の變動					
入ソ人員					
隊別計					
満洲残留					
収容所名	チムケント				
所入	「チムケント」三月 「チムケント」八月 「チムケント」十一月 「チムケント」三月 「チムケント」八月 「チムケント」十一月				
死亡	「チムケント」三月 「チムケント」八月 「チムケント」十一月				
満洲より	「チムケント」三月 「チムケント」八月 「チムケント」十一月				
計	「チムケント」三月 「チムケント」八月 「チムケント」十一月				
者数	「チムケント」三月 「チムケント」八月 「チムケント」十一月				
状況不明					

502名			
本	第一中隊(馬)	第二中隊(貸自)	第三中隊(貸自)
<p>大尉 佐藤 隆雄 中尉 鈴木 隆 少尉 鈴木 隆 少尉 鈴木 隆 少尉 鈴木 隆 少尉 鈴木 隆</p>	<p>中尉 鈴木 隆</p>	<p>中尉 鈴木 隆 少尉 三浦 明 少尉 仁科 明 少尉 和田 明 同 見士 平田</p>	<p>中尉 今野 定夫</p>
	約485名		
送	右 同	右 同	右 同
天	右 同	右 同	右 同

二〇、九、九(中) 佐藤隆雄十  
 一七 藤田(主力三三五名)  
 奉天發着(加入一) 一  
 出發時一三作大へ入る

第二中隊主力及佐藤隆雄は三  
 方面軍直轄となりて入る  
 隊長不明

二〇、八、一八、奉天にて  
 兵隊部隊、編成主力の兵隊  
 隊を編て奉天北郊に攻撃す  
 る(二〇、九、九)此時  
 佐藤隆雄、奉天直轄以下七〇  
 名が及ぼされ、佐藤隆雄は  
 使役二〇、九、二五、八、二  
 五、一九、二、二  
 五、二〇、八、五  
 召還、九二名

第二中隊の主力は奉天に  
 置かれた

奉天發着第三方面軍直轄となり、第二中隊  
 隊と共に入らる

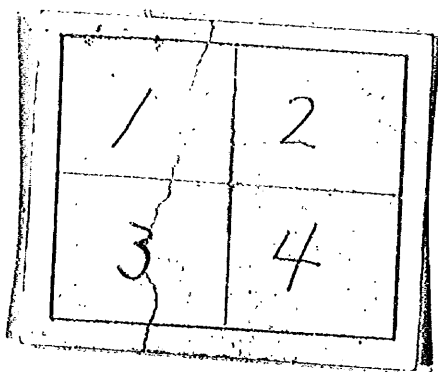


	中尉 今野 定夫	中尉 松野 正臣 少尉 三浦 明 少尉 仁科 明 同 見士 和田 平田	中尉 鈴木 源	少尉 谷本 隆 少尉 山崎 隆 少尉 山崎 隆
		約485名		
	右 同	右 同	右 同	陸 軍
	右 同	右 同	右 同	天 幕

終戦後第三支隊本部となり、置き二方部隊  
と共に入一ツ  
置した

三 四 八 の

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0291  
0292  
0294

第四軍第六三師團 部隊名 第六三師團工兵隊

通稱號 陣二九九八

郵便所名

全般概要		轉入	轉出	編制人員		別隊		隊長名		戰鬥間の状況及損耗		終戦後の人員變動		作業大隊より入ソノ變動		入ソノ人員		滿洲殘留		
一八、五、一、編成下令 一八、六、三〇、編成完結 一八、五、三〇、編成完結 一八、六、三、北支退避 一八、六、一、退避より奉天地盤防衛の爲め 二〇、八、一三、文官退避 東鞍山地盤構築に従事 二〇、八、一五、終戦に於テ文官退避 二〇、八、二〇、東鞍山地盤構築に従事 二〇、八、二六、第一作業大隊(主力) 第一三作業大隊(二中隊、本部の半分、約一六名) 二〇、九、一五、奉天發着 河經入「ソ」		十九年以降 二〇、三、一五 六三師團工兵隊 二九三名 二〇、三、一五 編成七八大隊 八五名 二〇、三、一五 編成七九大隊 二四四名 二〇、三、一五 編成九二名		961名	中 三 第 中 二 第 中 一 第 部 本	中尉 吉原 三 中尉 森 繁 中尉 高橋 紀之助 准尉 田村 長三 見士 中山 秀三 見士 上井 堅三 軍 清水 敏	227名 227名 780名 227名 199名(含器材小隊)	右 同 右 同 右 同 右 同 右 同	右 同 右 同 右 同 右 同 右 同	(内は先代を不示) 小作 西澤 泰彦 准尉 遠藤 州治 大尉 遊佐 忠吉 中尉 原 光隆 中尉 河野 敏	なし なし なし なし なし	なし なし なし なし なし	なし なし なし なし なし	なし なし なし なし なし	なし なし なし なし なし	なし なし なし なし なし	なし なし なし なし なし	なし なし なし なし なし	なし なし なし なし なし	なし なし なし なし なし

当隊は奉天に於て  
 中隊約三三名を以て  
 第一三作業大隊に  
 編入され、後、  
 指撥に従って入  
 隊した

第六三師團工兵隊

通稱號 陣二九九八

郵便所名

別隊		本隊		第一隊		第二隊		中隊	
隊長名 (内は先代を不す) 小澤 西澤 准尉 遠藤 州治 死 大尉 渡辺 忠孝 大尉 河野 隆 大尉 河野 隆		中尉 森 繁		中尉 高橋 紀之助 中尉 田村 長三 中尉 中山 秀行 中尉 上井 堅三 中尉 清水 敏		中尉 吉原 三		227名	
199名(含器材小隊)		227名		780名		227名		227名	
駐屯地		通達		右同		右同		右同	
戦闘間の状況及損耗		電官文		右同		右同		右同	
終戦後の人員變動		なし		なし		なし		なし	
作業大隊より入ソノ返の變動		西澤隊長が本師團に異動 大尉 河野 隆 補任 大尉 渡辺 忠孝 補任 大尉 河野 隆 補任 大尉 河野 隆 補任		なし		なし		なし	
入ソノ人員		カザンクスタン カザンクスタン カザンクスタン		ウスキナゴルスク		メルホウスク		ライケル	
満洲殘留		カザンクスタン カザンクスタン カザンクスタン		ウスキナゴルスク		メルホウスク		ライケル	
收容所		カザンクスタン カザンクスタン カザンクスタン		ウスキナゴルスク		メルホウスク		ライケル	
所人		カザンクスタン カザンクスタン カザンクスタン		ウスキナゴルスク		メルホウスク		ライケル	
死亡		カザンクスタン カザンクスタン カザンクスタン		ウスキナゴルスク		メルホウスク		ライケル	
満洲ソノ領		カザンクスタン カザンクスタン カザンクスタン		ウスキナゴルスク		メルホウスク		ライケル	
人員計		カザンクスタン カザンクスタン カザンクスタン		ウスキナゴルスク		メルホウスク		ライケル	
状況不明者数		カザンクスタン カザンクスタン カザンクスタン		ウスキナゴルスク		メルホウスク		ライケル	

一八、六、三〇、...  
 二〇、八、一三、...  
 二〇、八、一五、...  
 二〇、八、二〇、...  
 二〇、八、二六、...  
 二〇、九、一五、...  
 河越入ノ...

901名

本一	部	第一中隊	第二中隊	第三中隊	器材小隊
...	...	中尉 森 繁	中尉 高橋 紀之助 准尉 田村 長三 見士 中山 秀行 見士 上井 堅三 軍士 清水 敏	中尉 吉原 三郎	少尉 小松 康秀
	199名(含器材小隊)	227名	227名	227名	
送送		右同	右同	右同	右同
竜宮女		右同	右同	右同	右同

...

...

...

...

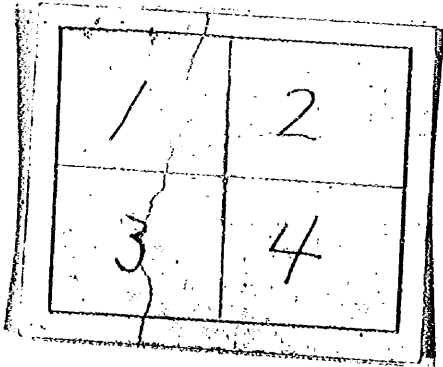
...

...

...

隊 小 材 器	隊 中 三 第	隊 中 二 第	隊 中 一 第	部
少尉 小松 康秀	中尉 吉原 三郎	中尉 高橋 紀之助 准尉 田村 長三 見士 中山 秀行 見士 上井 堅三 軍士 清水 敏	中尉 森 繁	<p>大尉 渡辺 武吉 中尉 藤田 信吉 中尉 森 繁 少尉 小松 康秀 少尉 小松 康秀 少尉 小松 康秀</p>
	227名	227名	780名	227名
右 同	右 同	右 同	右 同	近 江
右 同	右 同	右 同	右 同	近 江
	<p>吉原 三郎 少尉 中山 秀行 中尉 上井 堅三 中尉 清水 敏 中尉</p>			<p>大尉 渡辺 武吉 中尉 藤田 信吉 中尉 森 繁 少尉 小松 康秀 少尉 小松 康秀 少尉 小松 康秀</p>
<p>中尉 吉原 三郎 中尉 中山 秀行 中尉 上井 堅三 中尉 清水 敏</p>		<p>中尉 高橋 紀之助 准尉 田村 長三 見士 中山 秀行 見士 上井 堅三 軍士 清水 敏</p>	<p>中尉 森 繁</p>	<p>大尉 渡辺 武吉 中尉 藤田 信吉 中尉 森 繁 少尉 小松 康秀 少尉 小松 康秀 少尉 小松 康秀</p>
部本隊兵工		隊中二第隊兵工		

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0298  
0297  
0296

第四四軍第六二師團 部隊名 第六三師團通信隊

通稱號 陣二九九九

郵便所名

全般概要		轉入	轉出	員人調編	別隊	隊長名	戰時人員	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソの變動	入ソ人員	滿洲残留	
<p>一八、七、一、編成完結 (於北京)</p> <p>自一九、五、六 至一九、六、八 河南作戦</p> <p>自二〇、四、一九 至二〇、五、一三 燕京通信作戦</p> <p>二〇、六、一〇、遼東軍移 營に伴ひ北京駐 留、他部隊轉属</p> <p>二〇、六、一三、國境通過</p> <p>二〇、六、一六、通過沿、 關東野戰河地に在り、陸軍 司令官通信隊勤務として一 二中隊より各三名</p> <p>二〇、八、九、開戦に上り 通過遼寧天地区に向ふ</p> <p>二〇、八、一二、奉天陥、 東遼山にて陣地構築中終戦</p> <p>文官屯下降り武解</p> <p>二〇、八、一八、北遼大戦 に敗退する、司令官勤務の 一中隊の五名復原す</p> <p>二〇、八、二一、作業第三 一大隊編入</p> <p>二〇、九、一〇、奉天發見 河越入ソ</p>		<p>一九、二、二二 九一師團通信 隊 三九名</p> <p>一九、五、一九 八一師團通信 隊 八八名</p>	<p>二〇、七、七 今井信實以下 約一〇名轉属 轉属先不明</p>	398名	<p>本 部</p> <p>第一中隊 (線有)</p> <p>第二中隊 (線無)</p>	<p>(大尉 小山信二) 大尉 小林梅太郎 副官 (中尉 小山田仁) 中尉 大瀧 澄</p>	<p>(中尉 小林清) 少尉 須賀 武次 見士 松浦 浩 同 足立 安彦</p>	<p>(中尉 黒沼清) 少尉 柳田 光清 曹長 鈴木 光清 見士 小林</p>	<p>約</p> <p>118 = (終戦直前の轉出及 入隊を含む) 約175</p> <p>右中隊よりも人員多し 約160 約200</p>	<p>遠 遼</p> <p>(遼 東)天 奉</p>	<p>北遼にて師團司令官勤務の五名復原す</p>	<p>作業大隊より 入ソの變動</p>	<p>隊別計</p>	<p>滿洲残留</p>



隊名 第六三師團通信隊

通稱號 陣二九九九

郵便所名

隊別	本部	第一中隊 (線有)	第二中隊 (線無)
隊長名 (内は先代を示す) (大尉 小山信一) 大尉 小林梅太郎 副官 (中尉 小山田仁) 中尉 大塚 滋		(中尉 小林清人) 少尉 須賀 武次 見士 松浦 浩 同 足立 安達	(中尉 黒沼清) 少尉 柳田 光浩 曹長 鈴木 光浩 見士 小林
隊員 約		118= (終戦直前の陣出及入院を含む) 約175	本隊中隊よりも人員多し 約160 約200
駐屯地	遼 通	右 同	右 同
戦況	(陵 東)天 奉	右 同	右 同
戦闘間の状況及損耗			
終戦後の人員變動			
作業大隊より入ッ迄の變動			
入ッ人員			
隊別計			
滿洲残留			
收容所名			
收容所			
死亡			
滿洲より領			
計			
状況不明者数			

北隊にて留置列全隊の五名復員す

收 容 所 名  
アルタール地区  
同アルタール地区  
片

<p>二〇、八、二一、作兼第三大隊編入 二〇、九、一〇、奉天曹黒河編入</p>	<p>二〇、八、二八、北盤大舉に攻撃する、司令官職務の一中隊の五名復隊す</p>	<p>文官屯に降り武解</p>	<p>二〇、八、一二、奉天曹東段山にて陣地構築中終戦</p>	<p>二〇、八、九、開戦に上り通遼遼奉天地区に陣す</p>	<p>二〇、六、一三、遼東艦隊</p>	<p>二〇、六、一六、遼東艦隊、開戦時遼東艦隊にあり、師團司令官の職務として一、二中隊より各一名</p>	<p>二〇、六、一〇、遼東艦隊、二〇、六、一〇、遼東艦隊、今津島海軍航空隊にあり、師團司令官の職務として一、二中隊より各一名</p>	<p>一六、一、一六、六 一六、一、一六、六 一六、一、一六、六 一六、一、一六、六</p>
398名								
	(線無) 隊 中 二 第	(線有) 隊 中 一 第						
	<p>(中尉) 黒田 光清 少尉 柳田 光清 曹長 鈴木 光清 見士 小林</p>	<p>(中尉) 小林 隆夫 少尉 須賀 武夫 見士 松浦 武夫 同 足立 安彦</p>					<p>(大尉) 小沢 治三郎 大尉 小沢 治三郎 大尉 小沢 治三郎 大尉 小沢 治三郎</p>	
	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	
	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	
	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	
	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	
	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	
	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	
	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	
	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	
	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	
	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	
	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	
	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	
	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	
	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	

右 隊 中 二 第  
右 隊 中 一 第  
右 隊 中 一 第  
右 隊 中 一 第

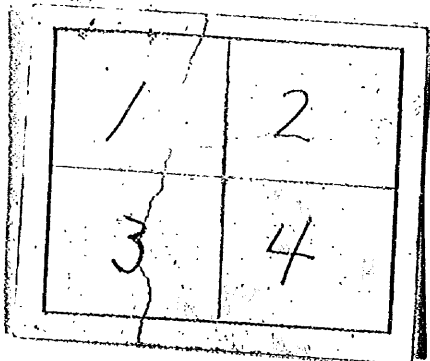
右 隊 中 一 第  
右 隊 中 一 第  
右 隊 中 一 第  
右 隊 中 一 第

398名

右 隊 中 一 第  
右 隊 中 一 第  
右 隊 中 一 第  
右 隊 中 一 第

(線無) 隊 中 二 第	(線有) 隊 中 一 第	部
<p>(中尉) 黒沼 俊一                      少尉 柳田 光清                      曹長 鈴木 光清                      見士 小林</p>	<p>(中尉) 小林 清人                      少尉 須賀 武夫                      見士 松浦 浩                      同 足立 安達</p>	<p>大工 小倉 大六                      司書 小倉 三三                      (主簿) 大橋 洋</p>
<p>有線中隊よりも人員多し                      約160                      約200</p>	<p>118名 (終戦直前の総出及                      入院を含まず)                      約175</p>	<p>務</p>
<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>送 送</p>
<p>右 同</p>	<p>右 同</p>	<p>(要 求) 天 空</p>
		<p>北緯 27° 50' 経緯 141° 00' 高さ 500 米</p>
		<p>1945.12.15                      1946.1.15                      1946.2.15                      1946.3.15</p>

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0296

0300

第四四軍第六三師團 部隊名 第六三師團野戰病院

通稱號 陣二九三二

郵便所名

0301

0302

全般概要

一四、三、三五師團野戦として旭川にて編成

一八、六、三〇、六三師團野戦として全口編成

一九、三、三三師團野戦として全口編成

二〇、六、二〇、四三師團野戦として全口編成

二〇、八、一、二、四三師團野戦として全口編成

二〇、八、一、五、文官屯に於て

二〇、八、一、八、文官屯にて武装解除、爾後北段に收容

自九、一、至一〇、二の期間收容所内に在りて防疫に従事す

二〇、一〇、三、約一〇〇名作業第五六大隊編成、一月下旬八「ソ」大久保野戦少佐外野戦二〇名、病弱兵四五名別行動

轉入

轉出

員人編

別隊

隊長名 (内は先代を示す)

戦時

平時

戦時

戦時

戰鬥間の状況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より入「ソ」迄の變動

入「ソ」人員

滿洲残留

收容

收容

357名

約200名

大久保一郎  
前川 功  
ヒモリ  
同 鳩谷 健  
同 藤島  
同 廣瀬 健  
同 荏原 健  
見士  
廣瀬 健  
藤島 健  
荏原 健  
見士  
廣瀬 健  
藤島 健  
荏原 健  
見士

隊名 第六三師團野戰病院

通稱號 陣二九三二

郵便所名

別	隊	隊長名 (内は先代を示す) 大久保一郎 前川 功 ヒモリ 同 鳩谷 健 同 藤島 健 同 廣瀬 健 同 荏原 健 同 見士 健 同 藤原 健 同 藤原 健	部	本	一歩兵 一砲重 一ケ小隊 一衛生 一ケ小隊
戦時人員	戦時人員	約200名	平時人員	平時人員	
駐屯地	駐屯地	遼 通 天 奉	戦時人員	戦時人員	
戦闘間の状況及損耗					
終戦後の人員變動					
作業大隊より入ソ返の變動					
隊別	計	入ソ人員	満洲残留		
收容所名	收容所名	收容所名	イルクーツク地區 ハラフン		
所入	死亡	満洲より領	所入		
計	計	計	計		
者	数	者	状況不明		



部 本  
一ケ小隊  
一ケ小隊  
一ケ小隊

徳大寺 前川 功  
河内 堀谷 道  
河内 藤原 隆  
見守 菅原 隆  
見守 菅原 隆  
見守 菅原 隆

約200名

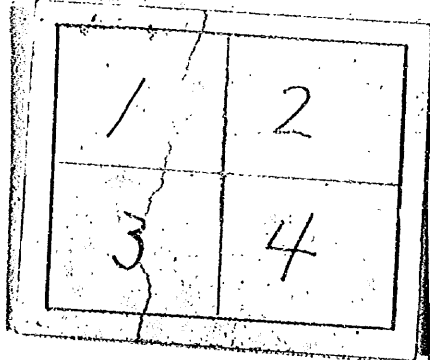
送 道

天 幸

ハ  
ラ  
ゴ  
ン  
イ  
ア  
ク  
；  
ツ  
ク  
迄  
迄



# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

第四軍第六三師團 部隊名 第六三師團病馬廠

通稱號 陣四二八八

郵便所名

0303  
0304  
0305  
0306

全般概要		轉入		轉出		員人編組		別隊		隊長名		駐屯地		戰鬥間の状況及損耗		終戦後の人員變動		作業大隊より入ソ迄の變動		入ソ人員		滿洲残留			
一八、五、一、三五師團將馬廠の二部を以て編成す		一九三、六 六三師團馬廠 二名		一九三、六 六三師團馬廠 二名		45名		本 部		隊長名 (内は先代を示す) 大尉 原口方小 少尉 中西 裕 同 尾高 實 准尉 藤原 安則		人員 職員 平 時 戰 時		通 達 奉 天											
二〇、八、一〇、四師團より奉天地區防衛の爲通過地より奉天に轉進 二〇、八、一二、奉天東邊署、陣地轉進中駐隊となる 二〇、八、一六、文官屯にて武裝解除 九月中旬より一〇月上旬の間に三回に亘り入ソ 九、一〇、隊以下一二名 九、二七、二二名 一、一七、作業第五大隊八名								班 容 教 班 療 診		42名 (將 4 兵 32) 下士 6		同 右 同 右													
								少尉 中西 裕 同 尾高 實 准尉 藤原 安則																	

部隊名 第六三師團病馬廠

通稱號 陣四二八八

郵便所名

編制人員		隊別	隊長名	備考	本	部	診	療	班	教	容	班	
(内は先代を不)		隊長	原口方小 中西裕 尾高實 藤原安則								少尉 中西裕 同 尾高實 准尉 藤原安則		
開入		戦時	42名	将 4 下士 6	兵 32								
駐屯地		平時	遼通								右同		
戦時		戦時	天率								右同		
戦闘間の状況及損耗													
終戦後の人員變動													
作業大隊より入「ソ」迄の變動													
入「ソ」人員													
隊別計													
滿洲残留													
收容所													
收容所名		ハラゴン收容所											
所入													
死亡													
滿洲より													
ソ領より													
計													
者數													
状況不明													

二〇、八、一六、文官屯下  
 て武裝解除、九月下旬より一〇月上旬の  
 間三回に別入「ソ」  
 九、一〇、隊以下一二名、  
 九、二七、二二名  
 一一、七、作業第五大隊  
 八名

二〇、四、二五  
 二〇、一八、〇大  
 一九、三、六  
 二名

45名

部	班	容	收	班	療	診	部	本
								大尉 原口方小 少尉 守野 谷 同 尾高 安 准尉 藤原 安則
						42名 將 4 下士 6 兵 32		
			右	同		右	同	差 通
			右	同		右	同	天 奉

	班 容 收	班 森 診	部 本
少尉 中西 裕 同 尾高 實 准尉 藤原 安則			少尉 中西 裕 同 尾高 實 准尉 藤原 安則
		42名 將 4 兵 32 下士 6	
	右 同	右 同	同 同
	右 同	右 同	同 同

0307

~~44A~~  
34A